

総選挙前の株価はどう動くか

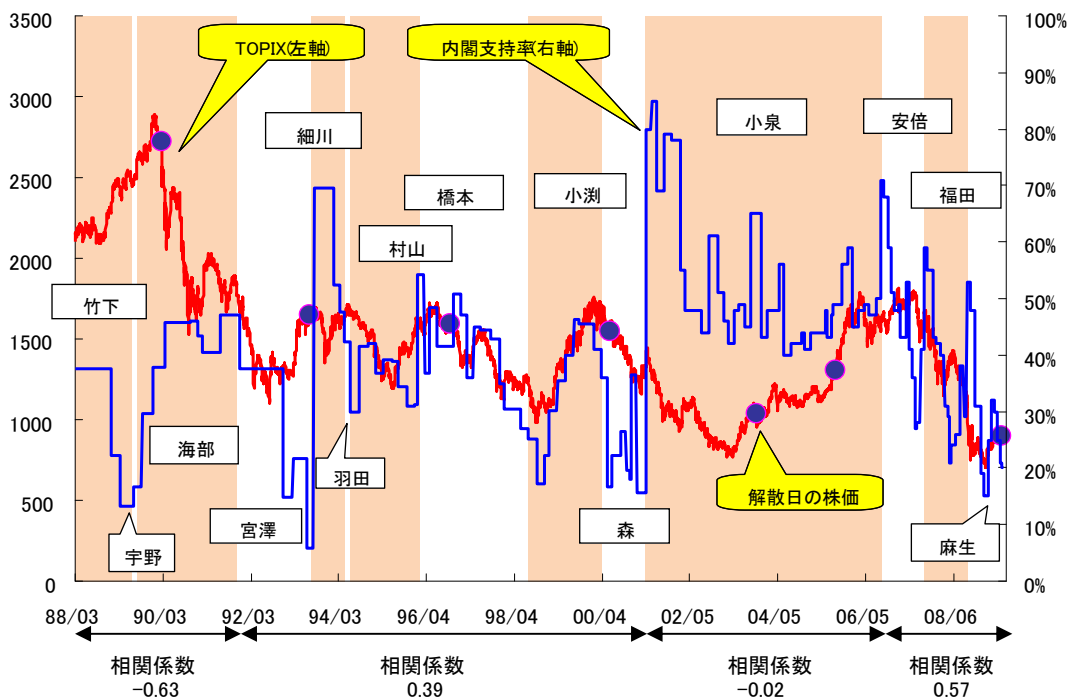
- ✓ 衆議院が解散され、8月30日に総選挙となりました。
- ✓ 解散日から投票日までの株価を見ると、過去20年間6回の平均は1.3%の上昇となっており、投票日までに大きく下落する可能性は比較的少ないといえそうです。

自民・民主両党のマニフェストが出揃い、8月30日の総選挙に向けて政策論議が高まる時期に入ってきました。政治の話は取扱いが難しい面も多いですが、データをもとに株価と政治との関係を振り返っておきたいと思います。

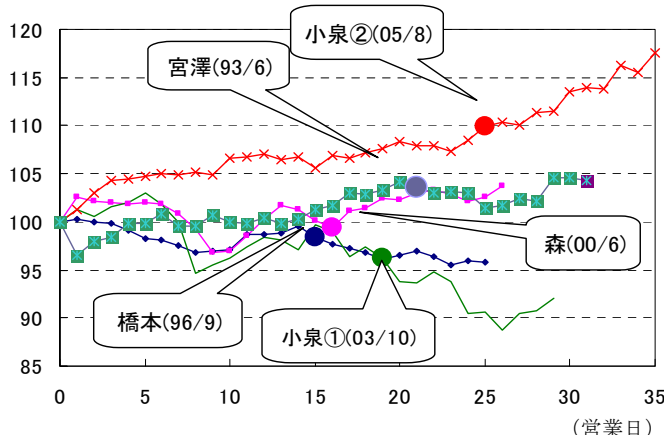
図表①は過去20年の内閣支持率（日経調査）とTOPIXを対比したグラフですが、支持率と株価とは連動して動く面があります（太い丸印「○」で衆議院解散日の株価を示しています）。両者の相関係数を試算すると、土地バブル前後の「竹下～海部内閣」、高支持率が続いた「小泉内閣」では関係が不明確ですが、経済が苦境にあった「宮沢～森内閣」「安倍～麻生内閣」では、高い相関を示しています。社会の最大の関心事であった「景気（＝株価）」が支持率に大きく影響したものと思われます。

解散日から投票日までの株価をみると、小幅に下げた例もありますが、過去20年間6回の平均では1.3%の上昇となっています（図表②、図表③参照）。過去の例を見る限り、投票日までに大きく下落する可能性は比較的少ないといえそうです。

【図表①】内閣支持率と株価



【図表②】解散日から総選挙までの株価



注) 解散日の株価を100として指数化

【図表③】解散日から投票日までの株価上昇率

内閣	投票日	日数	TOPIX 上昇率
海部	90/02/18	25	0.5%
宮澤	93/07/18	30	3.6%
橋本	96/10/20	23	-1.6%
森	00/06/25	23	-0.6%
小泉	03/11/09	30	-3.8%
小泉	05/09/11	34	9.9%
麻生	09/08/30	40	?
平均(6回)		28	1.3%

出所: 日本経済新聞 ブルームバーグ

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

